

令和4年9月5日～9月11日までの全国の暑さ指数(WBGT)の観測状況 及び熱中症による救急搬送人員数と暑さ指数(WBGT)の関係について (令和4年度第19報)

1. 全国の暑さ指数(WBGT)の観測状況について

9月5日～9月11日の6都市(注1)の日最高暑さ指数(WBGT)の平均値は、常に「警戒」を示す25以上が続き、「嚴重警戒」を示す28以上の日が多くありました。

6都市の10年間平均値と比較すると、9月8日以外は高く、2以上高くなる日もありました(図1、表1参照)。

11都市(注2)では、札幌を除き28以上となる日があり、名古屋、福岡、那覇では「危険」を示す31以上になる日がありました(表1、表2参照)。全国を見ると、北海道地方以南で28以上、北陸地方以南では31以上となる日がありました。

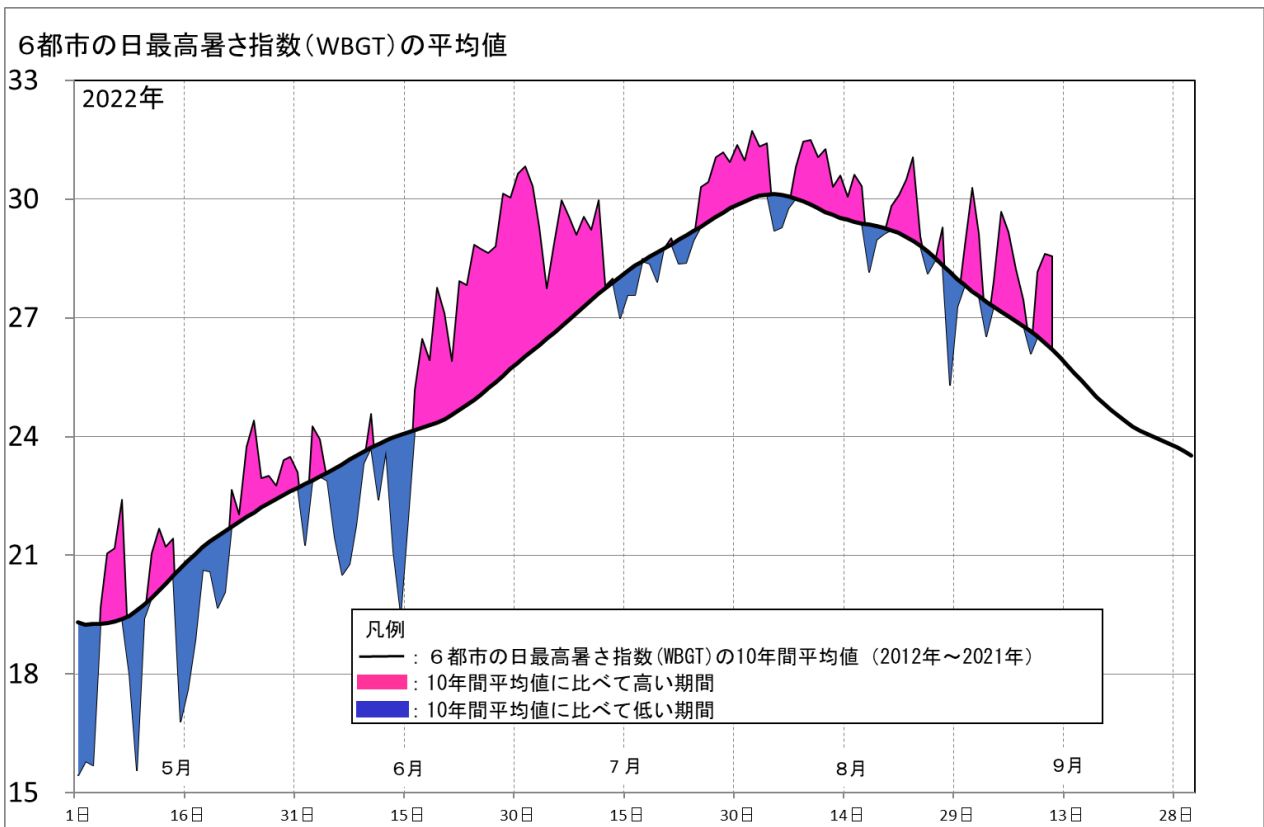


図1 全国の暑さ指数(WBGT)の動向と過去10年間平均値との比較

表1 全国11都市(注2)の日最高暑さ指数(WBGT) (9月5日～9月11日) (注3)

日	札幌	仙台	新潟	東京	名古屋	大阪	広島	高知	福岡	鹿児島	那覇	6都市平均
5	20.3	23.2	30.6	29.1	29.9	29.9	28.4	30.3	27.1	28.9	28.2	29.2
6	23.9	25.1	28.7	30.6	29.5	28.4	26.2	29.3	25.9	27.5	29.4	28.2
7	23.5	26.2	25.3	29.0	30.6	27.8	25.8	30.8	26.2	29.6	28.0	27.5
8	22.5	20.9	24.0	25.2	26.8	26.4	26.6	29.5	27.6	29.1	28.6	26.1
9	23.4	28.3	26.1	28.6	30.1	27.1	27.7	29.6	29.4	29.5	30.9	28.2
10	18.8	26.0	27.1	26.9	31.2	30.4	26.0	30.6	30.1	30.4	31.1	28.6
11	22.1	26.5	27.0	26.0	29.9	29.8	27.7	30.2	31.0	30.9	30.8	28.6

注1 6都市：東京都、大阪市、名古屋市、新潟市、広島市、福岡市

注2 11都市：札幌市、仙台市、新潟市、東京都、名古屋市、大阪市、広島市、高知市、福岡市、鹿児島市、那覇市

注3 表1、表2の値は速報値であり、年度末に発表される確定値とは異なる場合があります。

表2 全国11都市の9月5日～9月11日の暑さ指数(WBGT)超過時間数(注3)

超過時間数	札幌	仙台	新潟	東京	名古屋	大阪	広島	高知	福岡	鹿児島	那覇
31以上	0	0	0	0	1	0	0	0	1	0	1
28以上	0	1	10	11	38	20	4	42	18	31	37
25以上	0	13	42	71	92	69	41	104	73	112	156

ほぼ安全	注意	警戒	厳重警戒	危険
21未満	21以上25未満	25以上28未満	28以上31未満	31以上

2. 6都市の日最高暑さ指数(WBGT)と熱中症による救急搬送人員数(全国)との関係

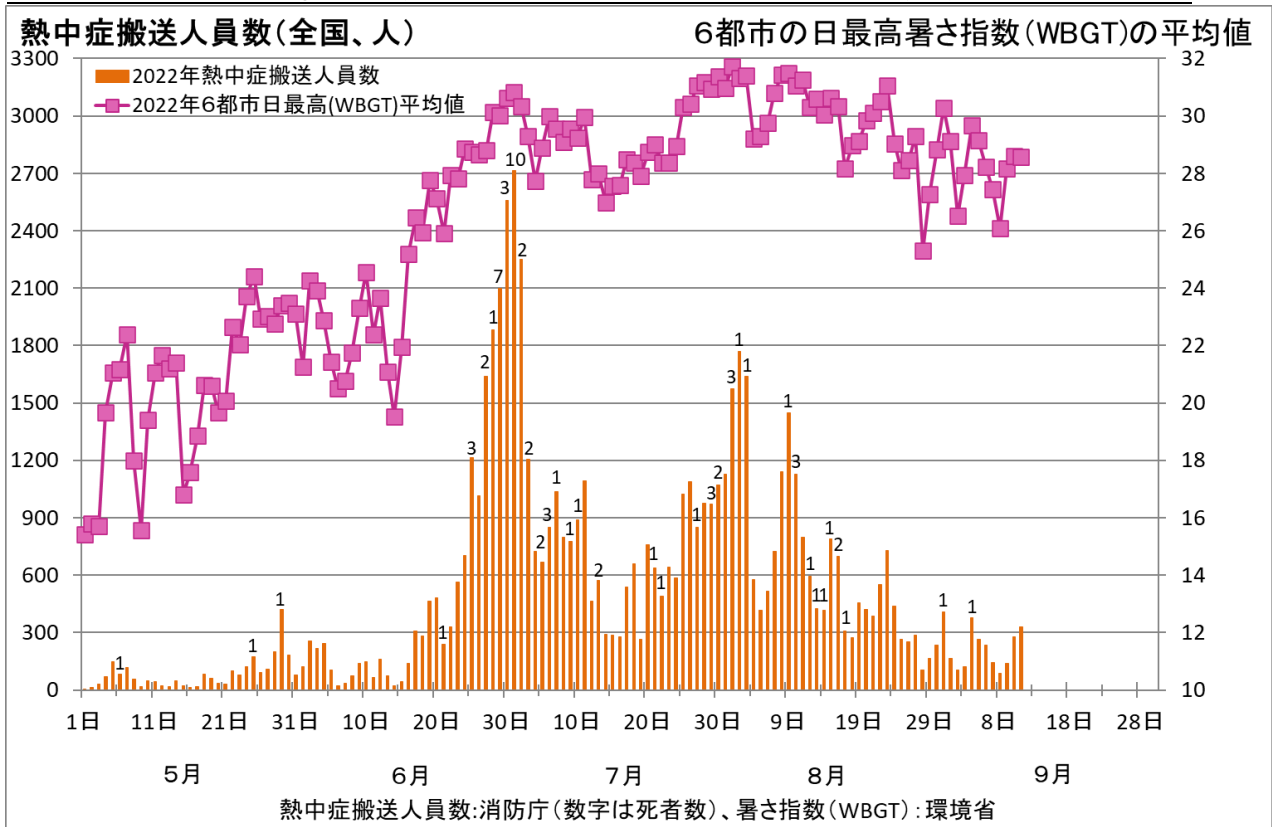


図2 6都市の日最高暑さ指数(WBGT)の平均値と熱中症搬送人員数の推移

9月5日～9月11日までの6都市(注1)の日最高暑さ指数(WBGT)の平均値は、常に「警戒」を示す25以上が続き、「厳重警戒」を示す28以上の日が多くありました(表1、図1)。

消防庁発表の速報によると、熱中症による救急搬送人員数は、多い日が9月11日の332人などで、この期間の総数は1,481人となりました(図2)。

参考

消防庁情報によれば、今年4月25日～9月11日(速報値)の年齢区分別で少年の割合は全体の10.6%、発生場所別では屋外の割合が全体の11.8%ですが、先週9月5日～11日に限ると、これらの割合は、少年が16.1%、屋外が15.9%となっています。

9月に入ったとはいえ、まだまだ暑くなる日もありますので、特に日中の屋外活動等では、暑さ把握に努め、声掛けを含めた、積極的な熱中症対策の実施をお願いいたします。

3. 全国の熱中症警戒アラートの発表状況

9月5日～9月11日までの熱中症警戒アラート発表状況は、以下のようになっております（表3）。

表3 全国の熱中症警戒アラート発表状況（9月5日～9月11日）

地方 ^{※1}	北海道	東北	関東甲信	東海	北陸	近畿
域内平均 ^{※2}	0	0	0	0	0.8	0
のべ回数	0	0	0	0	3	0
地方 ^{※1}	中国	四国	九州北部 ^{※3}	九州南部・奄美	沖縄	
域内平均 ^{※2}	0	0.3	0	0	0	
のべ回数	0	1	0	0	0	

※1：気象庁の地方予報区単位（別図参照）

※2：「地方内府県予報区の1週間ののべ発表回数」÷「地方内府県予報区数」
回数は前日17時、当日5時どちらかの発表で1回とカウント

※3：九州北部には山口県も含まれる

4. 今後の見通しと注意点

9月16日までは、東北以南で「警戒」を示す25以上、北陸以南では「厳重警戒」を示す28以上、近畿以南では「危険」を示す31以上になる地点がある見込みです。

気象庁の週間天気予報（9月14日発表、予報期間：9月15日～9月21日）によると、「最高気温と最低気温は平年並みか平年より高い所が多く、平年よりかなり高い日もある見込みです。なお沖縄地方は平年より低い日が多い見込みです。」となっております^{※4}。

※4：全国の地方週間予報から気温予報の概要を編集。詳しくは気象庁ホームページの最新情報を参照願います。

○9月になり涼しい日も増えましたが、まだまだ日中は暑くなる日もあります。

- ・暑い日は外出を避け、室内をエアコン、窓開け等で涼しい環境にしましょう。
- ・暑い日の屋外活動時は適切にマスクを外し、休憩・水分補給を心掛けましょう。
- ・体調変化に気付きにくい、高齢者・子供への積極的な声かけをお願いします。
- ・災害発生時の避難・復旧対応でも、暑い日は熱中症予防に十分留意願います。

参照：「災害時の熱中症予防」[20220630_heatillness_leaflet_saigai.pdf \(env.go.jp\)](https://www.env.go.jp/20220630_heatillness_leaflet_saigai.pdf)

別図：気象庁の地方予報区・府県予報区の区分について
(気象庁提供図を補足)

北海道		宗谷			
上川・留萌		網走・北見・紋別			
石狩・空知・後志		十勝	釧路・根室		
胆振・日高					
渡島・檜山					
		青森			
		秋田	岩手		東北
		山形	宮城		
		北陸			
		石川	富山	新潟	福島
		福井	岐阜	長野	群馬
		滋賀	山梨	埼玉	茨城
		三重	愛知	静岡	東京
		和歌山	東海		千葉
		中国			
		山根	鳥取	兵庫	京都
		広島	岡山	大阪	奈良
九州北部		九州南部		奄美	
長崎	佐賀	福岡			
熊本	大分				
鹿児島	宮崎				
奄美					
		四国			
		愛媛	香川		
		高知	徳島		
		近畿			
		沖縄			
		沖縄本島			
八重山	宮古島	大東島			